



◆当面の管理について

1. 副梢整理の不徹底な園が散見されます。食味不良と収穫時期の遅れとなりますので随時管理を行ってください。

◆現状の果実品質について

高温干ばつの影響もあって、小粒になっており、着色が進んでいる品種がある。また、糖度が先行しているものの酸抜けが追い付いていない。

果樹試験場の調査では、果色は平年より遅れ、昨年並み。糖度・酸含量は、平年より進んでいる。

着色糖度だけではなく、必ず食味を行い酸抜けの確認をする

。

◆シャインマスカット・赤系ぶどうの収穫出荷講習会について

《松代・川中島・更北地区》

内容	開催日	開催時間	開催場所
検査・出荷講習会	9月3日（水）	午前11時00分	川中島共選所
		午後2時00分	松代農業総合センター
		午後2時00分	真島フルーツセンター

※検査時間までに、品質調査用の房（袋に氏名記入）を各センターまで持ち込み下さい。

◆シャインマスカット・赤系ぶどう選果基準目揃い会開催について

ブロック	開催日	開催時間	内容	開催場所
篠ノ井	9月10日（水）	午後1時30分	選果目揃い会	西部流通センター
				東部流通センター
松代 川中島 更北	9月10日（水）	午後1時30分	3ブロック合同 選果目揃い会	松代農業総合センター
若穂	9月10日（水）	午後2時00分	選果目揃い会	若穂果実流通センター

◆種なしぶどうの施肥（礼肥と元肥同時施用）について

種なし巨峰・ナガノパープル・シャインマスカット・クイーンニーナ等 樹勢を落ち着かせることが重要です。

1. 遅効きを防止するため、早めの施肥を心掛ける。（収穫中に施用）
2. 種なしぶどうの好適樹相は「開花期までに一気に90cm程度まで伸び、その後2回の摘心で150cm程度に抑えられる」樹勢です。
このため、早期に施用し開花期に肥効が切れるようにしたい。
3. 種あり巨峰と生理が全く違う。種あり巨峰と同じ施肥はさける。

施用時期	肥料名	施用量	成分量 (kg)
9月下旬	なたね粕	3袋	N3.0-P1.2-K0.6
9月下旬～ 10月上旬	グリーン長野果樹専用有機入り72	2袋	N3.2-P0.8-K0.4-苦土0.6
	果樹の力	2袋	苦土13.6

※幼木～若木（5年生ぐらいまで）や樹勢が強い場合は、「グリーン長野果樹専用有機入り72」施用を控える。

※成木でも樹勢が落ち着かない場合は、「グリーン長野果樹専用有機入り72」を10a当り、1～0.5袋程度とする。急な無肥（窒素分）は、極端な樹勢低下を招く場合があるので注意する。判断に迷う場合は、果樹営農技術員までご相談下さい。

◆施肥（ぶどう共通）について

1. 樹勢に応じて施肥量を調整する。新梢の太さなどを見て判断する。
2. 種あり巨峰で樹勢が弱い場合は、なたね粕を2袋追加する。
3. 種なし品種で樹勢が弱い場合は、なたね粕を1袋、グリーン長野果樹専用有機入り72を1袋追加する。
樹勢が強い（棚が埋まり、新梢が太い）場合は、開花以降に肥効が切れる程度に施肥量を減らす。
4. ホウ素欠乏対策として3年に1回「ほう砂」を10a当たり3kg施用する。

◆台風対策について

1. 被害にあった場合の対応について
 - 1) 脱粒や、つぶれた粒が多くなるので、被害程度を確認し、園内で被害の多いところから収穫を急ぐ。
 - 2) 傘により穂軸の障害が多く見られる場合も同様に早めに収穫する。
 - 3) 袋内で裂果した果粒は腐敗しやすいので粒抜き等の処理を行う。
荷造り時には細心の注意を払い傷果の混入を防ぐ。
 - 4) 落果房の加工対応や裂果の多い房の特別荷受けについて不明な点は、各共選所・果樹技術員まで。
 - 5) 折れた枝の傷口にはトップジンMペースト等を塗布する。
2. 今後の台風対策について
 - 1) 棚の張線等を締めなおし強風に備える。
 - 2) 棚は上下動を防ぐことが重要なので、棚の内部に「アンカー」や「おもし」で引き下げたり、支柱で突き上げたりして、棚が上下に揺れないように固定する。
 - 3) 苗木は支柱で固定し、倒伏防止を図る。
 - 4) 園内に排水路を設けるなどして、雨が溜まらない様にする。

◆黒系ぶどうなど生産振興について

管内のぶどう栽培は、「シャインマスカット」がぶどうの取扱量約80%程度と占有し、さらに上昇してきており、全国的に同様の傾向となっています。

このため、「黒系ぶどうが大幅に少量となっており、市場など実需者からは、要請が多い状況です。

「シャインマスカット」を中心とした栽培は続きますが、「黒系ぶどう」が一定量ある事により、「シャインマスカット」も生きてきます。生産者にとっても、労力分散による、栽培面積増加、品質の安定に繋がるため、「黒系ぶどう」振興・栽培する事も重要になります。

J Aでは支援策として、農業開発事業による、振興品種（特に推奨する品種として、巨峰・ナガノパープル・ピオーネ・クイーンニーナ）の導入支援を実施しております。

1. 開花期がシャインに比べ早いため「作業分散による収入向上」。
2. 着色系ぶどうを栽培することにより「ぶどう栽培技術のスキルアップ」

◆クイーンルージュ®苗木について

果樹秋苗の注文取りまとめ時期となりますが、下記についてご注意をお願い致します。不明な点は、果樹技術員まで相談ください。

1. 購入に当り ⇒ J Aファーム・資材店で対応

- 1) 専用注文書によるとりまとめになります。
- 2) 植付圃場の住所が必要になります。
- 3) 新規に購入する場合は、誓約書が必要になります。

過去に、親族が購入していた場合は、新規に誓約書が必要になります。

2. クイーンルージュ®を継承された方へ ⇒ 流通センター駐在果樹技術員で対応

- 1) 親族や他人から、クイーンルージュ®を継承した場合で、誓約書の提出をされていない方は、誓約書の提出が必要です。

例1) 父親がクイーンルージュ®を購入（園地所在地報告・誓約書提出済）し、栽培販売をしていた。経営移譲を受け、子が現在栽培販売をしている。

⇒子が誓約書の提出が必要

例2) 知人がクイーンルージュ®購入（園地所在地報告・誓約書提出済）し、栽培販売をしていた。園地ごと借り受けて、自身が栽培販売を始めた。

⇒借り受け人の誓約書の提出が必要。

例3) 母親がクイーンルージュ®を購入（園地所在地報告・誓約書提出済）した。しかし、栽培販売は子が始めた。

⇒子の誓約書の提出が必要

3. 苗木を購入したが、余ったので他者に譲渡したい

⇒禁止されています。

